



源氏物語

描かれた

多様な源氏絵の世界

収蔵品展Ⅱ

2025.

7

14

月

8

1

金

開館時間=9:30 ~ 16:30

休館日=土曜日、日曜日、祝日

観覧料=無料

会場=ギャラリー1

(右) 尾形月耕《源氏五十四帖 五十三 手習》部分、大判錦絵、明治28年(1895)

(左) 二代歌川国貞、二代歌川広重《源氏五十四帖 五十三 手習》部分、大判錦絵、慶応元年(1865)

*すべて当館蔵

城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY

りゅうていたねひこ

江戸後期の戯作者・柳亭種彦（1783～1842）が執筆した長編小説『修紫田舎源氏』は、平安文学の傑作、紫式部『源氏物語』の世界をベースに、時代を室町時代に置き換えて描いた合巻の代表的作品です。歌舞伎や浄瑠璃的な世界を取り入れ、推理小説仕立てに仕上げた本作は、挿絵を当時の人気絵師、初代歌川国貞（1786～1865、のちの三代豊国）が担当したこともあり、江戸の人々をおおいに魅了し一大ベストセラーとなりました。このブームの勢いは浮世絵にも見られ、登場人物や主要な場面をアレンジして描いた「源氏絵」と呼ばれる作品が数多く刊行されます。一方で、『源氏物語』を絵画化したものも「源氏絵」といい、江戸時代は特に盛んに描かれていました。

この度の展示では、当館が所蔵する浮世絵のうち、二代歌川国貞（1823～80）と二代歌川広重（1826～69）が、幕末期に描いた浮世絵版画の揃物《佛源氏五十四帖》と、浮世絵師で日本画家の尾形月耕（1859～1920）が明治期に描いた《源氏五十四帖》の2つの源氏絵から抜粋してご紹介、その他の源氏絵作品とともにご覧いただきます。多様な源氏絵の世界をどうぞお楽しみください。

スライドショー
申込不要

学芸員による
みどころ解説

日時：7月16日（水）
14時～（約30分）

会場：水田美術館1階
多目的スペース

関連企画

※座席数は20程度、立見の場合もございます。

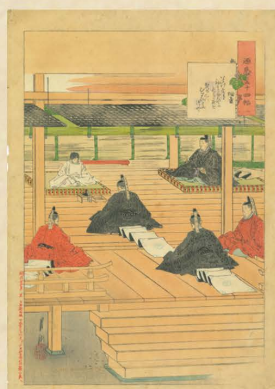
二代歌川国貞、二代歌川広重《佛源氏五十四帖 十三 明石》部分、大判錦絵、元治元年（1864）



1.



4.



5.



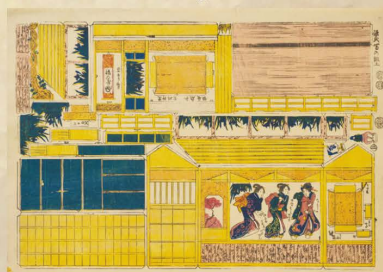
6.



7.



2.



3.

- 歌川国芳《准源氏教訓図会 総合》大判錦絵、天保14年～弘化4年（1844～47）
- 2、3、二代歌川豊久《田舎源氏組上之図》大判錦絵九枚のうち、嘉永5年（1852）
- 4、二代歌川国貞、二代歌川広重《佛源氏五十四帖 一桐壺》大判錦絵、元治元年（1864）
- 5、尾形月耕《源氏五十四帖 一桐壺》大判錦絵、明治25年（1892）
- 6、二代歌川国貞、二代歌川広重《佛源氏五十四帖 三十四 若菜上》大判錦絵、元治元年（1864）
- 7、尾形月耕《源氏五十四帖 廿四 若菜上》大判錦絵、明治26年（1893）

※すべて当館蔵

交通のご案内 / Access



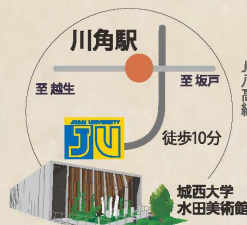
【電車の場合】

東武東上線坂戸（さかど）駅乗換え、東武越生線川角（かわかど）駅下車徒歩10分
東口改札（IC、切符）または学園口改札（ICのみ）のいずれかをご利用ください。
※東口改札から出る場合、踏切を渡ります。

【お車の場合】

- 関越自動車道「鶴ヶ島IC」を出て、鶴ヶ島方面に進み国道407号線を直進
- 「脚折町四丁目」交差点で右折し、右に「狩野動物病院」の看板がある交差点で右折
- 「一本松」交差点を毛呂山方面に直進
- 「万年橋」を渡り、「明海大学病院」の看板がある交差点を左折し直進、踏切を渡り登り坂を進むと突き当りに城西大学正門入口

※鶴ヶ島ICより約20分



数字は川角駅までの最短所要時間です。
The number indicates the shortest time required to reach Kawakado station.

城西大学水田美術館
MIZUTA MUSEUM OF ART, JOSAI UNIVERSITY

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1
1-1 Keyaki-dai, Sakado-shi, Saitama 350-0295 JAPAN
Phone : 049-271-7327 <https://www.josai.ac.jp/museum/>